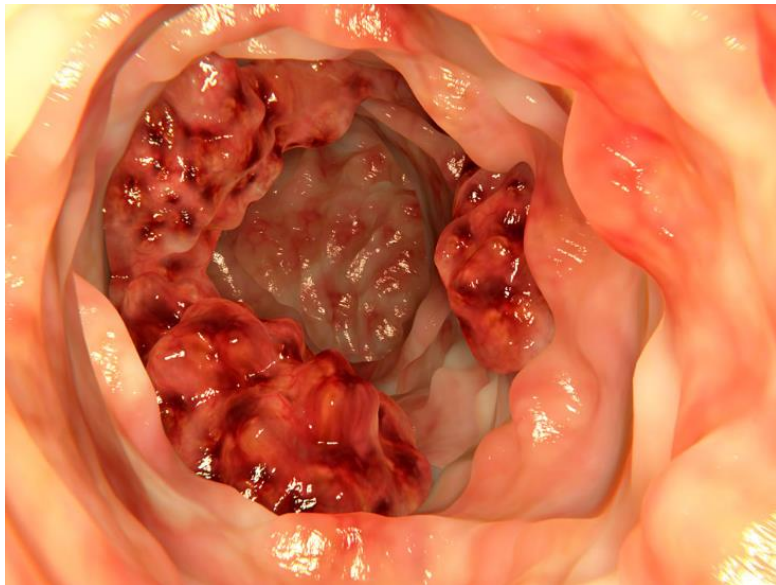


# 大腸内視鏡検査を行わなかった 場合の死亡リスク上昇について

大腸がんで亡くなった 1750 人の患者さんを調べたところ、76%の患者さんが便潜血検査・大腸内視鏡検査による大腸がんスクリーニングを適切に受けていなかったことが明らかとなり、Gastroenterology 誌に報告されました。



便潜血検査・大腸内視鏡検査による適切なスクリーニングを行うことにより、大腸がんのリスクを62%減らせることも明らかになりました。

